

地震被災者救済は政府の仕事 地震国イタリアの救済と大違いの日本

助かった命を守る・イタリアの対策を学べ

お粗末な石川県能登半島地震対策

正月早々に襲った石川県、能登地震。道路寸断で救急隊も近づけない困難さはあっても、災害のたび見せつけられる学校体育館での被災者の扱い。

政府や自治体は憲法25条を守っているのでしょうか。地震国イタリアの対応をなぜ学ばないのでしょか。

◎災害が起こればただちに届く3種の物品パッケージを州ごとに常時備蓄（被災者2500人用）

- ① キッチンカー（シエフ付き）あたたかい食事を提供
- ② 移動トイレ
- ③ 屋内でも使えるメントとベット（家族単位に使用）

さらに、シャワーセット・冷暖房（発電機付き）診療所テントなど。これらは半日程度で設置。

全国に訓練を行った有給ボランティア組織を多数配置。発災時には（平均すると1週間程度の休暇）を取って活動。ベットの災害対策まで行っています。

災害時使えるホテルなどがあればその場所で被災者のため利用するのは当然。

日本の避難所のほとんどは④の夏暑く、冬寒い体育館。る寝 プライバシーも感染症対策もなし。食事は冷たいおにぎり、トイレも少ない。震災関連死の原因になっている。

京都市の防災体制を強化させよう

- ◎ 消防員を3881人（15年間）減らしてきたことを反省し増やせ（仕事がきつくて退職続出）
- ◎ 京都市は廃止した被災住宅再建支援金制度を復活せよ。

憲法25条は政府や自治体・公務員が守るもの

岸田さん おやめなさい

憲法25条

（一）「すべて国民は健康で文化的な最低限度の生活を営む権利を有する。」
（二）「国は、すべての生活部面について社会福祉、社会保障及び公衆衛生の向上及び増進に努めなければならない。」



戦争反対 1月19日戦争法廃止宣伝

アメリカ言いなりで軍拡を進める岸田政権、集団的自衛権で日本をアメリカの戦争に引きずり込む、戦争法を廃止させましょう

1月19日(金)

午後5時〜5時30分

阪急桂駅西口

午後6時30分から市役所前で宣伝・デモもありますよびかけ 西京九条の会連絡会・洛西平和ネット



①キッチンカー



② 移動トイレ



③家族単位のテント・中にはベット



④九州熊本の避難所

大阪万博中止・資材を被災地に送れ
辺野古の埋め立て中止・資材を被災地に送れ

洛西生協前スタンディング

29日行動に参加を

1月29日(月)

午後4時から

4時30分

境谷本通 福西東通 生協角

主催 洛西平和ネット

洛西平和ネット

発行 2024年1月15日

事務局連絡先TEL 09017880512430

◎大阪万博は中止して震災被災者救援に全力を挙げよ。

日本は世界有数の地震大国

軍事費・大阪万博・無駄な公共事業減らし国民の命守れ



危険な原発今すぐ廃炉に

電力会社の情報は信じられない

今回の地震で志賀原発の設備報告が「大本営発表」のようなくまかしが随所に見られました。
志賀原発において、外部電源の変圧装置が地震で壊れたり、使用済み燃料プールの水が溢れたりしています。
志賀原発は福島第一原発での過酷事故以来、稼働していませんので、原子炉には燃料棒が入っていませんが、プールの中の

使用済み燃料は十分に冷えています。もし稼働中であつたら、福島と同じような過酷事故を起す可能性は十分にあります。

北陸電力は1・2号機とも定期検査により停止中であることを強調。原発の全域を点検した結果、「安全上問題はない」と5日公表している。7日には、原発に接する海面で大きな油膜が発見されたが、「環境や人体に影響はない」とすかさず説明した。

油漏れを大幅修正

北陸電力の説明には首をかしげたくなるものもある。変圧器から漏れた絶縁油について、当初は3500リットルとされていたが、後に1万9800リットル(2000リットルドラム缶で99本分)と訂正。当初の5倍超とは、大幅過ぎる訂正だ。

放射線量を測定する原発内のモニタリングポストの数値に変化がないとして、「外部への放射能の影響はない」とするが、原発周辺のモニタリングポストは、15カ所で測定できなくなっている。原発内のモニタリングポストは正常なのかと勘ぐってしまう。

データを改ざん、外部には虚偽の報告

北陸電力はかつて志賀原発の重大事故を隠蔽していたことがある。

1999年6月18日、1号機を停止し、定期検査を行った際、制御棒の試験で操作手順を間違え、3本の制御棒が引き抜かれてしまった。これにより、何もなくても核分裂反応が起る「臨界状態」が15分間も起った。ところが、北陸電力は組織ぐるみでデータを改ざん。外部には虚偽の報告を行った。この隠蔽が発覚したのは8年後の2007年3月だった。

「周辺の住民を不安にさせたくないからなのか、今回の北陸電力の説明は、“大丈夫”から入っている。原発のリスクに楽観は禁物だ。」



全国で2台しかない特殊車両「レッドサラマンダー」

レッドサラマンダーは、全国で大阪市と岡崎市にしか配備されていない総務省消防庁の全地形対応の特殊車両。1台1億円。危険なおスプレー1台諸経費込み200億円。やめると200台買える